

	2012年1月	2012年2月	2012年3月	最近の経済動向
世界	-GDP:IMF12 13年:世界 3.3 3.9、日 1.7 1.6、米 1.8 2.2、ユーロ 0.5 0.8、中国 8.2 8.8、インド 7 7.3、ブラジル 3 4、ロシア 3.3 3.5 - 11年:世界自動車販売 4%増、半導体世界販売 0.4%増 -12月:半導体世界販売 5.3%減	-G20 財務相・中銀会議:IMF 基盤拡充、ユーロ安全網強化、成長緩やかで下振れリスク - ドバイ原油 24日 120.2ドル -1月:世界半導体売上 8.8%減	-ドバイ原油 14日 124ドル	・中国投資・内需で成長維持、インド 6%台成長、NIES/ASEAN、国により明暗。米経済は消費・輸出堅調で回復傾向。欧州輸出鈍化・消費低迷。日本景気低迷。欧米信用不安、株価下落、中東政変後が懸念材料
日本	-GDP:10-12月:前期比年率 0.7%減、消費 0.3%増、投資 1.9%増、輸出 3.1%減、24年度:2.2%見通し -財政・金融:16日長期金利 0.935%1年2ヶ月ぶり安、24年度:一般歳出 90.3兆円(国債歳入 44.2兆円) -株価:6日 8,395円、13日 8,500円 -雇用:NEC5千人削減、12月:失業率 4.5% -所得:12月:勤労者実収入 0%増 -物価:東電、4月から電力料金引上 -消費:12月:消費支出 0.5%増 10ヶ月ぶり+、小売販売 2.5%増、11年:自動車販売 15.1%減 421万台 -受注:12月:機械 0.8%増、工作機械 17.4%増 -生産:12月:鉱工業 4.3%減、在庫 3.4%増、機械 2.5%減、11年:鉱工業 3.5%減、乗用車 13.4%減 -貿易:12月:輸出 8%減、輸入 8.1%増、11年:輸出 2.7%減 -収益:10-12月:営業益:アテクト 30億円赤字、4-12月:営業益:三菱自 3倍、日立建機 45%増、日精工 6%増、日揮 2.9倍、安川電機 61%増、ファナック 22%増、キーエンス 3%増、 -投資:日野エンジン 200億円、10-12月:設備投資全産業 7.6%増、11年:日本企業のM&A 57.8%増、11年度:設備投資国内 2%減、海外 2%増、12年度:携帯3社 1.6兆円	-財政・金融:14日日銀金融緩和策、物価 1%目標、資産買入 55 65兆円 -株価:11日 8947円、15日 9254円 -所得:1月:勤労者世帯 2.4%増 11年:現金給与 0.2%減 -雇用:1月:失業率 4.6%、0.1%悪化 -消費:1月:消費支出 2.3%減、新車販売 36.2%増 -受注:1月:工作機 6.9%減(国内 11.8%減)、産機 59.5%増 -生産:シャープ液晶パネル 5割減産、1月:鉱工業 1.2%減、前月比 2%増、乗用車 18.8%増 -貿易:1月:輸出 9.3%減、輸入 9.8%増、11年:輸出 2.7%減、輸入 12%増、貿易赤字 2.5兆円 31年ぶり -収益:4-12月:純益:三菱商 20%増、物産 23%増、伊藤忠 50%増、三菱重 82%増、日立 61%減、営業益:コマツ微増、東芝 36.2%減、三菱電 16%減、10-12月:経常益:全産業 10.3%減、製造業 21.5%減、12月期:キヤノン 2.4%減、3月期:純益:ホンダ 60%減、デンソー 43%減、京セラ 36%減、最終損:パナソニック 7千億円、ソニー 2200億円、シャープ 2900億円、NEC1千億円、営業益:日立建機 45%増、村田 38%減、日揮 3.2%減、経常益:上場 21%減、ニコン 43%増 -投資:1月:機械受注(民需)前月比 3.4%増	-財政・金融:14日日銀成長分野貸出枠 2兆円拡大 -景気:1-3月:大企業景況感 2.7悪化 -受注:1-3月:機械見通し 9.9%増 -株価:7日 9558円、13日 10,055円 -物価:パソコン価格 1~2割低下、薄型TV値崩れ加速 -消費:2月:新車販売 36.2%増 -受注:2月:工作機械 8.6%減(国内 15.6%減) -投資:1-3月:機械(民需)見通し 0.3%減 -収益:エルビージャ会社更生法申請	(前々月)・GDP 10-12月は 2.3%減と再びマイナス。消費はやや増加へ、車販売回復傾向。輸出の低迷続く。投資・生産は回復の兆し。失業率は比較的高水準。4-12月企業業績は商社、産業機械、建機、FA 好調、電機、部品不振。一段の金融緩和措置で株価は上昇傾向。景気回復、雇用拡大が課題。円高等による輸出の長期低迷が懸念材料 (前・当月)・GDP 10-12月は 0.7%減と上方修正。消費は低迷も車販売は回復傾向。輸出の低迷続く。受注は回復見通し、投資・生産は底打ちの兆し。失業率はやや高水準悪化。4-12月企業業績は商社、産業機械、建機、FA 好調、電機、部品不振。株価は金融緩和と円安で上昇傾向。 景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支赤字の長期化が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海 4日 2,194、20日 2304 -中国:12月:輸出 13.4%増、小売販売額 18%増、対中直接投資 12.7%減、製造業景況感前月比 1.3%増 50.3、消費者物価 4.1%、10-12月:GDP 8.9%増 11年:輸出 20.3%増、入 24.9%増、固定投資 23.8%増、小売販売 17.1%増、新車販売 2.5%増 1,850万台、人民元 4.7%高、12年:GDP 7%増 -韓国:10-12月:GDP 前期比 0.4%増、輸出 1.5%減、投資 5.2%減、営業益:サムスン 73%増、12月:鉱工業 0.9%減、11年:輸出 19%増 42.9兆円、新車販売 0.6%増 147万台、サムスン投資 12%増、3.2兆円、四大財閥 17%増 6.5兆円 -台湾:12月:鉱工業生産 8.2%減、輸出 0.6%増、入 2.7%減、10-12月:TSMC 23%減、南亜科技最終赤字 109台湾ドル -フィリピン:12月:消費者物価 4.2%、11年:GDP 3.7%増 -ベトナム:11年:GDP 実質 5.9%増、消費者物価 18.6%上昇 -タイ:12月:車販売 41%減、CPI 3.5%、11年:輸出 17%増 -シンガポール:10-12月:GDP 4.9%減、11年:4.8%増 -インドネシア:12月:新車販売 26.4%減、11年:新車販売 17%増、対内直接投資 18%増、消費者物価 3.8% -インド:政策金利 6%据置、11月:鉱工業生産 5.9%増、12月:卸売物価 7.5%、11年:新車販売 8%増 329万台	-株価:上海 1日 2283、27日 2457 -中国:18日預金準備率引下げ、1月:輸出 0.5%減、輸入 15.3%減、製造業景気指数 0.1%上昇 50.5、対中直接投資 0.3%減、 -韓国:10-12月:ハインツ最終赤字 160億円、12月期:純益:現代自 35%増 5600億円、起亜 30%増、11年:GDP 3.6%増、1月:鉱工業生産前月比 3.3%増、輸出 6.6%減 -台湾:10-12月:GDP 前期比年率 0.6%減、最終益:アスース 23%増、イサー 98%減、1月:海外受注 8.6%減、12月期:TCL 純益 2.3倍、1月:鉱工業生産 16.5%減、輸出 17%減 -東南ア:12月:新車販売 17%減、11年:自動車販売 4%増 -フィリピン:12月:新車販売 23%減 -インドネシア:1月:消費者物価 3.6%、11年:輸出 29%増、輸入 31%増 -ベトナム:1月:消費者物価 16.4%増 -タイ:1月:車販売 12%増、生産 4%減、11年:GDP 0.1%増 -マレーシア:12月:新車販売 12%減、11年:GDP 5.1%増 -シンガポール:12月:新車販売 21%減、10-12月:GDP 2.5%減 -インド:12月:鉱工業 1.8%増、GDP:10-12月 6.1%、11年 6.9%増、12年度:7.5~8%増 1月:卸売物価 5.8%、	-株価:上海 7日 2410、13日 2442 -中国:2月:消費者物価 3.2%、1-2月:小売売上高 14.7%増、新車販売 6%減、12年:GDP 目標 7.5%へ、歳出 14.1%増、 -フィリピン:2日 0.25%引下げ貸出金利年 6%へ、 -インド:10日預金準備率 0.75%引下げ年 4.75%へ、1月:鉱工業生産 6.8%増、製造業 8.5%増、2月:新車販売 17%増 34.7万台	(前々月)・中国は 10-12月 GDP 8.9%、投資・消費高水準維持、輸出・生産やや鈍化、インフレ沈静化、車販売やや低調。韓国、輸出、生産減速、企業業績好調。台湾、輸出横這い、生産低迷。ベトナム、比較的高成長も高インフレ。インドネシア、経済好調、インフレ沈静化。マレーシア、フィリピン成長鈍化。シンガポールはマイナス成長。タイ洪水で生産低迷。インド、生産・成長減速、車販売回復。持続的成長が課題。 (前・今月)・中国は 10-12月 GDP 8.9%、投資・消費高水準維持、輸出・生産やや鈍化、車販売やや低調。韓国、輸出減少、生産やや回復、企業業績好調。台湾、輸出減少、生産低迷。インドネシア、経済好調。ベトナム、比較的高成長も高インフレ。マレーシア、フィリピン成長鈍化。シンガポールはマイナス成長。タイ洪水で生産低迷。インド、6%台成長の生産減速、車販売は回復傾向、物価は沈静化

北米	<p>-GDP:10-12月:前期比年率3%増、消費 2.1%増、住宅 11.5%増、投資 2.8%増、輸出 4.3%増、11年:1.7%増</p> <p>-景気:FRB 経済は緩やかなペースで拡大、12月:製造業景況感 1.5 上昇 53.9 へ、</p> <p>-財政・金融:25 日一般教書、製造業で雇用創出、26 日 FRB ゼロ金利政策 14 年未まで、物価 2%目標</p> <p>-株価:NYダウ 11 日 12,489 ドル、13 日 12,355 ドル</p> <p>-物価:12月:消費者 3%、卸売前月比 0.1%減</p> <p>消費:12月:小売売上高前月比 0.1%増、卸売売上高 11.8%増、住宅着工 24.9%増、新築販売 7.3%減、11-12月:主要小売売上 3.3%増、11年:小売売上高 7.7%増、主要小売売上 4.7%増、新車販売 10.3%増 1,277 万台、</p> <p>-受注:12月:耐久財 10%増</p> <p>-生産:12月:鉱工業前月比 0.4%増</p> <p>-貿易:12月:輸出 9.3%増、輸入 12.1%増</p> <p>-収益:10-12月:純益:主要 500 社 8%増、アップル 2.2 倍 130.6 億ドル、IBM 4%増 54 億ドル、インテル 6%増、ゲーグル 6%増 27 億ドル、ホーイング 20%増 1,100 億円、GE18%減 2870 億円、マイクロソフト 0.2%減、アマゾン 58%減、コダック上場廃止、12月期:フォード 3 倍 1.6 兆円、キヤブイラ 83%増 3,800 億円</p>	<p>-景気:1月:消費者信頼指数 3.7 低下 61.6、製造業景況感 1 上昇 54.1</p> <p>-株価:NYダウ 11 日 12,774 ドル、15 日 12,878 ドル</p> <p>-財政・金融:13 年度:財政赤字 103 兆円</p> <p>-雇用:1月:失業率 8.3%0.2 改善、24.3 万人増</p> <p>-物価:1月:消費者 2.9%、住宅価格 4%減</p> <p>消費:1月:個人消費支出前月比 0.2%増、主要小売売上 4.8%増、新車販売 11.4%増、住宅着工 9.9%増、新築販売 3.5%増</p> <p>-受注:1月:耐久財 8.8%増</p> <p>-生産:1月:鉱工業前月比横這い</p> <p>-貿易:1月:輸出 7.6%増、輸入 8.4%増</p> <p>-収益:10-12月:純益:GM 8%減、11-1月:純益:シスコ 43%増、デル 18%減、HP44%減、12月期:GM62%増 6 千億円、フォード 3.1 倍、202 億ドル、クライスラー 2 億ドル、1月期:アプライド・マテリアル 77%減</p>	<p>-景気:1日FRB 経済は緩やかなペースで増加、2月:製造業景況感 52.4、1.7 低下</p> <p>-株価:NYダウ 6 日 12,759 ドル、14 日 13,199 ドル</p> <p>-雇用:2月:失業率 8.3%横這い</p> <p>消費:2月:小売売上高 6.5%増、新車販売 15.7%増</p>	<p>(前々月)・GDPは10-12月2.8%増で10期連続+。個人消費は堅調、車・住宅販売回復傾向。投資は回復傾向。輸出は好調。受注、生産増加傾向。失業率高水準もやや改善。大幅な財政赤字。企業収益10-12月8%増で好調持続。株価は回復傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用拡大が課題</p> <p>(前・今月)・GDPは10-12月3%増で10期連続+。個人消費は堅調、車・住宅販売回復傾向。投資は回復傾向。輸出は好調。受注、生産増加傾向。失業率高水準もやや改善。企業収益10-12月8%増で好調持続。株価は回復傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用拡大が課題</p>
欧州	<p>-GDP:10-12月:前期比年率ユーロ 1.3%減、独 0.2%減、仏 0.2%増、英 0.2%減、伊 0.7%減、蘭 0.3%減、スウェーデン 0.3%減、11年:独 3%増、12年:EU予測:ユーロ 1.5% 0.5%、独 2.9 0.8%、仏 1.6 0.6%、英 0.7%、伊 0.5 0.1%、スウェーデン 0.7 0.7%</p> <p>-財政・金融:16日欧州9カ国国債格下げ ユーロ急落、31日財政規律、EMS設立で合意</p> <p>-株価:英 FTSE 12日 5,662、</p> <p>-雇用:12月:失業率ユーロ 10.4%最悪、独 5.5%、仏 9.8%、伊 8.6%、蘭 4.9%、スウェーデン 22.6%</p> <p>-消費:12月:小売売上高:ユーロ 1.6%減、独 0.9%減、仏 0.3%増、英 6.3%増、スウェーデン 5.3%増、新車販売:欧州 1.7%減、独 6%増、仏 18%減、11年:新車販売:欧州 1%減、独 9%増</p> <p>-収益:10-12月:純益:シーメンス 16%減、1,400 億円、フィアット 85%減、最終赤字:フィリップス 160 億円、ノキア 1,100 億円、ソニー 205 億円、ST マイクロ 2.2 億ドル</p> <p>-投資:欧州エネルギー大手風力発電に7千億円</p>	<p>-GDP:12年:ユーロ 0.3%減、独 0.6%増、仏 0.4%増</p> <p>-財政・金融:貸し渋り顕著、融資基準厳格化、3日EMS設立条約署名、</p> <p>-株価:英 FTSE 1日 5,681、21日 5,945</p> <p>-物価:1月:消費者 2.7%</p> <p>-雇用:1月:失業率:ユーロ 10.7%0.1 過去最悪、独 5.8%</p> <p>-消費:1月:小売売上高:ユーロ 1.6%減、独 0.9%減、仏 0.3%増、英 6.3%増、スウェーデン 5.3%減、ポーランド 1.6%減、新車販売:欧州 8%減、独 0.4%減、仏 21%減、英 0%、伊 17%減</p> <p>-受注:12月:製造業:ユーロ 1.7%減、独 1.7%増、仏 5.2%減、英 10.5%減、蘭 12.7%減、伊 0.9%減、ポーランド 5.5%増</p> <p>-生産:12月:鉱工業:ユーロ 2%減、独 0.7%減、仏 2.2%減</p> <p>-貿易:12月:ユーロ:輸出 9%増、輸入 1%増</p> <p>-収益:10-12月:純益:主要企業 7%増、アルカテル・ルーセント 2.6 倍、ノキア 10 億赤字、12月期:純益:VW 2.2 倍 1.7 兆円、BMW 51%増 5300 億円、PSG 48%減、ルノー 38.7%減</p>	<p>-財政・金融:ECB 政策金利 1%で据置、ギリシャ国債投資家 83%債務削減合意、10日IMFギリシャに1300億€支援合意、12日ECB国債買入継続</p> <p>-株価:英 FTSE 6日 5,765、14日 5,955</p> <p>-消費:2月:新車販売横這い</p> <p>-収益:12月期:純益:ダイムラー 26%増 57 億€</p>	<p>(前々月)・GDP10-12月1.3%減、10四半期ぶり-。欧州信用不安、最悪の失業率で個人消費の低迷続く、自動車販売マイナス。輸出は増加続く。投資は停滞。受注・生産も低迷。株価はやや回復傾向。企業業績は自動車、重電が減益、家電・部品・通信が大幅赤字。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP10-12月1.3%減、10期ぶり-。欧州債務に解決の糸口、最悪の失業率で消費の低迷続く、自動車販売低迷。輸出は増加続く。投資は停滞。受注・生産も低迷。株価はやや回復傾向。企業業績は増益も車、重電減益、電機・通信が大幅赤字。信用不安解消、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-イラク:三井物産、現地政府と肥料工場 1500 億円投資</p> <p>-ナイジェリア:12月:消費者物価 10.3%、10-12月:GDP 8.7%増</p>	<p>-イラク:日揮発電設備一括受注</p> <p>-ナイジェリア:12年:GDP 6.8%増</p>	<p>-クウェート:住商、発電・造水事業 1450 億円</p>	<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトに復興需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:19日政策金利 0.5%引下げ年 10.5%へ、10-12月:GDP 前期比 0.3%増 2期ぶり+、11年:車販売 3.4%増 363</p> <p>-メキシコ:日産 1,560 億円投資新工場建設 13 年末稼働年 60 万台、10-12月:GDP 3.7%増前期より縮小</p>	<p>-ブラジル:1月:新車販売 9.6%増 26.8 万台、11年:GDP 2.7%増</p> <p>-ベネズエラ:11年:GDP 4.2%増</p>	<p>-ブラジル:8日政策金利 1.75%引き下げ年 9.75%へ</p>	<p>・ブラジル経済は金融引締緩和で自動車販売に回復傾向。メキシコ経済は堅調もやや減速。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:11年:GDP 4.2%増、新車販売 39%増、265 万台</p>		<p>-ロシア:プーチン大統領復帰</p>	<p>・ロシアは石油価格の高止まり、新車販売、投資等内需中心に経済堅調。持続的回復が課題。</p>